

BK-W75D (08600-K9036)

ワイド Bluetooth/USB チューナー

取扱書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この取扱書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルのため、外国で使用することはできません。

ダイハツ工業株式会社



目次

はじめに

安全上のご注意.....	4
使用上のご注意.....	6
本書の読みかた.....	8
本書の構成.....	8
本書の表記.....	8

基本操作

各部の名称とはたらき.....	9
曜日と時刻を合わせる.....	10
ステアリングリモコンを使う.....	11

オーディオ

AM または FM を聴く.....	12
ラジオに切り替える.....	12
放送局を探す.....	12
放送局を登録する.....	12
手動でプリセットをする.....	12
自動でプリセットをする.....	12
登録した放送局を受信する.....	12
ラジオの設定をする.....	13
選局方法を切り替える.....	13
放送局の登録方法を切り替える.....	13
交通情報を受信する.....	13
交通情報の周波数を切り替えるには.....	13
USB 機器のファイルを再生する.....	14
USB 機器を接続する.....	14
USB に切り替える.....	14
再生する MUSIC DRIVE を選ぶ.....	15
“FUNCTION” メニューから MUSIC	
DRIVE を選ぶ.....	15
再生するファイルを選ぶ.....	15
フォルダーから選ぶ.....	15
クイックサーチ.....	15
iPhone を再生する.....	16
iPhone を接続する.....	16
USB 接続の場合.....	16
Bluetooth 接続の場合.....	16
iPhone に切り替える.....	16
再生するファイルを選ぶ.....	17
リストから選ぶ.....	17
アルファベットで検索する.....	17
スキップサーチ.....	17

外部接続機器を聞く.....	18
再生する.....	18
外部機器の名前を設定する.....	18

Bluetooth

Bluetooth® 機器の登録と設定.....	19
Bluetooth 機器をはじめてペアリング・	
接続する.....	19
オートペアリング機能で登録する.....	19
Bluetooth の設定をする.....	20
登録した機器を削除する.....	20
Bluetooth テストモード.....	20
テストモードを終了する.....	20
ハンズフリーを使う.....	21
電話を受ける.....	21
通話中の操作.....	21
送話音質を調節する.....	22
受信の設定をする.....	22
電話をかける.....	22
履歴から電話をかける.....	23
電話帳から電話をかける.....	23
ダイヤルして電話をかける.....	23
音声認識で電話をかける.....	23
連絡先を短縮ダイヤルに登録する.....	24
登録されている短縮ダイヤルに電話をか	
ける.....	24
Bluetooth オーディオ機器を再生する...25	
BT AUDIO に切り替える.....	25

設定

サウンドを設定する.....	26
デジタルタイムアライメントの設定をする	
.....	27
ディレイタイムを自動的に決める.....	28
設定を変更する.....	29
ディスプレイの表示を設定する.....	30
ディマーの設定を切り替える.....	30
ディスプレイの設定を切り替える.....	30
イルミネーションの色を設定する.....	30
LCD DISPLAY の明るさを設定する.....	31
“FUNCTION” モード時の表示色を設定	
する.....	31

付録

その他の情報	32
メディアおよびファイルについて	32
iPhone について	32
Bluetooth 機器について	32
特許権 / 著作権 / 商標など	33
ソフトウェアについて	33
故障かな?と思ったら	38
仕様	40
保証とアフターサービス	42

安全上のご注意

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 表示を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区別して、説明しています。

 警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- お守りいただく内容の種類を絵記号で区別して、説明しています。

	注意（しなければならない）の内容です。
	禁止（してはいけない）の内容です。
	実行（かならず行っていただく）の内容です。

使用方法について

警告



分解・修理および改造はしない

分解・修理、改造、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのは絶対におやめください。交通事故や火災、感電、故障の原因となります。



音量は、車外の音が聞こえない音量で使用しない

車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となります。

**機器内部に、水や異物を入れない**

金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電の原因となります。飲み物などが機器にかからないようにご注意ください。

故障や異常な状態のままで使用しない

画像が映らない、音が出ない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がする場合は、ただちに使用を中止してください。事故や火災、感電の原因となります。

運転者は走行中に操作したり、画像や表示を注視したりしない

必ず安全な場所に車を停車し、パーキングブレーキをかけた状態でご使用ください。交通事故の原因となります。

**雷が鳴り出したら、アンテナコードや本機に触れない**

落雷による感電の原因となります。

**ヒューズは、必ず規定容量品を使用し、交換は専門業者に依頼する**

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。交換は、お買い上げの販売店に依頼してください。

⚠ 注意**本機を車載用以外で使用しない**

発煙や発火、感電やけがの原因となることがあります。

異常時の問い合わせ**⚠ 警告****異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ず販売店かサービス窓口に相談する**

そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

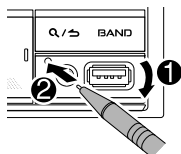
お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

使用上のご注意

本機を使用していただくうえで、知っておいていただきたいことです

本機の異常にお気づきのときは (リセット方法)

本機の異常にお気づきのときは、「故障かな?と思ったら」(→ P.38)を参照して解決方法をお調べください。解決方法が見つからないときは、本機のリセットボタンをペン先などで押してください。リセットボタンを押しても正常に戻らないときは、本機の電源を切り、お買上げの販売店へご相談ください。



本機のお手入れについて

操作パネルや本体部が汚れたときは、クロスなどの柔らかい布で乾拭きしてください。

汚れがひどいときは、中性洗剤を付けた布で汚れを拭き取ってから、乾いた布で洗剤を拭き取ってください。硬い布やアルコールなどの揮発性の薬品は使用しないでください。

傷が付いたり文字が消えることがあります。

温度について

直射日光下で窓を閉めきっていると、自動車内は非常に高温になります。本機内部が 60℃を超える高温になると、保護回路が動作して再生ができなくなります。このようなときは、車内の温度を下げると、保護回路が解除され、再生できるようになります。温度が下がっても正常に動作しないときは本機のリセットボタン(→ P.9)を押してください。

オートアンテナ付き車に取り付けた場合は

ラジオのアンテナが自動的に伸びるオートアンテナ車に取り付けた場合、本機の電源をオンすると、車両のアンテナが自動的に伸びます。天井の低い車庫に入る場合は、本機の電源をオフにするか、ソース(音源)を“STANDBY”に切り替えてください。

表示できる文字について

英大文字、数字といくつかの記号が表示できます。表示できない文字は、“_”表示となります。

その他

偏光サングラスを使用すると、視認性が低下する場合があります。

本機に記録された個人情報について

- 本機を譲渡したり、売却したりする場合は、本機に登録した Bluetooth デバイス情報を、必ずお客様自身によってデータを消去し、確認してください。
Bluetooth デバイス情報の消去は、FACTORY RESET (→ P.29)で行うことができます。
未消去のデータの流出による損害等について、当社では一切の責任を負いませんので予めご了承ください。
- プライバシー情報保護のため、本機に登録した個人情報は、お客様の責任において取り扱いや管理を実施してください。当社は一切の責任を負いかねます。

電波について

本機は、電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けています（受けた部品を使用しています）。

したがって、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。日本国内のみで使用してください。日本国内以外で使用すると各国の電波法に抵触する可能性があります。以下の事項を行うと、法律で罰せられることがあります。

- 分解 / 改造すること
- 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと
- 本機は 2.4GHz 帯の周波数を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、以下の事項に注意してご使用ください。

使用上のご注意

本機の使用周波数帯（2.4GHz）では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、当社カスタマーサポートセンターにご連絡頂き、混信回避の処置等についてご相談ください。
3. その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して、有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、当社カスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

- 製品に表示している周波数表示の意味は下記の通りです。

2.4 FH 1

2.4： 2.4GHz 帯を使用する無線機器です。

FH： FH-SS 変調方式を表します。

1： 電波干渉距離は 10m 以下です。

☐ ☐ ☐： 全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域回避可能です。

- 使用可能距離は見通し距離約 10 m です。
鉄筋コンクリートや金属の壁等をはさんでトランスミッターとレシーバーを設置すると電波を遮ってしまい、音楽が途切れたり、出なくなったりする場合があります。本機を使用する環境により伝送距離が短くなります。
- 下記の電子機器と本機との距離が近いと電波干渉により、正常に動作しない、雑音が発生するなどの不具合が生じることがあります。
 - 2.4GHz の周波数帯域を利用する無線 LAN、電子レンジ、デジタルコードレス電話などの機器の近く。電波が干渉して音が途切れることがあります。
 - ラジオ、テレビ、ビデオ、BS/CS チューナー、VICS などのアンテナ入力端子を持つ AV 機器の近く。音声や映像にノイズが入ることがあります。
- 本機は電波を使用しているため、第 3 者が故意または偶然に傍受することが考えられます。重要な通信や人命にかかわる通信には使用しないでください。

本書の読みかた

この取扱書の構成と、表記方法について説明します。

本書の構成

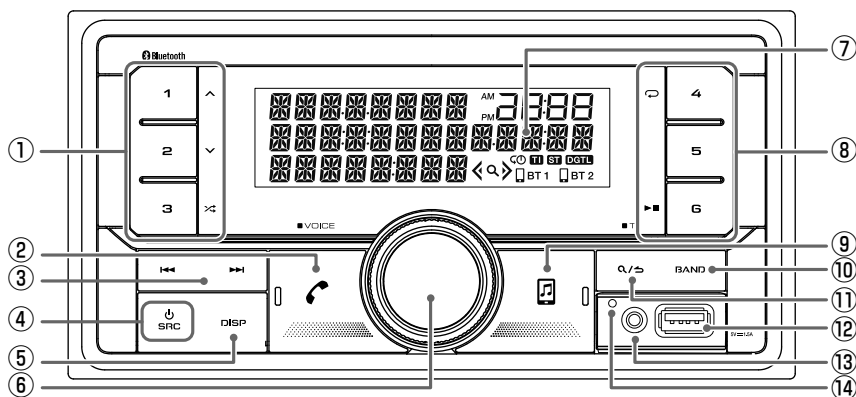
はじめに	安全上のご注意や使用上のご注意など、はじめにお読みいただきたいことが記載されています。(→ P.4)
基本操作	各部の名称や画面の切り替えかたなど、本機の基本的な操作方法を説明しています。(→ P.9)
オーディオ	オーディオの操作方法について説明しています。(→ P.12)
Bluetooth	携帯電話やスマートフォン、オーディオプレーヤーを Bluetooth で接続したときの操作方法について説明しています。(→ P.19)
情報	サウンド設定、および本機の設定、表示設定などについて説明しています。(→ P.26)
付録	関連する資料やトラブルシューティングを掲載しています。(→ P.32)

- 本書の画面や操作例は、操作説明用に作成したものです。仕様変更などにより、本書の内容と実際の画面が異なる場合があります。

本書の表記

- ・ 操作は本体の操作パネル上のボタンを使って説明しています。
- ・ 操作パネルのボタンは、【**⏻SRC**】のようにボタン名に【 】を付けて表示しています。
- ・ (→ P.XX) は、本文中の参照ページを示しています。
- ・  は、手順の補足説明や制限事項について説明しています。

各部の名称とはたらき



① [1 へ] / [2 へ] / [3 へ] ボタン

- [1] / [2] / [3] :
FM/AM 放送受信中に、その番号に登録してある放送局を呼び出します。押し続けると現在受信中の放送局をその番号に登録できます。
- [1 へ] / [2 へ] :
USB/BT AUDIO ソース (音源) は、フォルダーを選びます。
- [3 へ] (ランダム再生) :
USB/iPhone/BT AUDIO ソース (音源) は、ランダム再生方法を選択します。

② [VOICE] ボタン

- ハンズフリー電話を受ける
- 押し続けるとスマートフォンの音声認識機能が起動します。(スマートフォンと Bluetooth 接続時)

③ [◀▶] / [▶▶] (サーチ/スキップ) ボタン

- FM/AM : 放送局を切り替えます。
- USB/iPhone : 前 / 次の曲 (ファイル) を再生します。押し続けると、早送り / 早戻しします。

④ [SRC] (ソース切り替え/電源) ボタン

- 電源がオンになります。押し続けると電源がオフになります。
- 電源オン時は、押すたびにソース (音源) が切り替わります。
また、押したあと 2 秒以内にボリュームノブを回すと、ソース (音源) を切り替えることができます。

⑤ [DISP] (表示切り替え) ボタン

ディスプレイに表示される情報を切り替えます。

⑥ ボリュームノブ

- ボリュームを調節します。([0] ~ [35])
- 押すと、“FUNCTION” (機能設定) モードに入ります。“FUNCTION” モード時に、回して機能や項目を選択、押しで決定します。

- USB/iPhone/BT AUDIO ソース (音源) の検索モードでは、回してリストの選択、押しで決定します。

⑦ ディスプレイ

⑧ [4 へ] / [5] / [6▶▶] ボタン

- [4] / [5] / [6] :
FM/AM 放送受信中に、その番号に登録してある放送局を呼び出します。押し続けると現在受信中の放送局をその番号に登録できます。
- [4 へ] (リピート再生) :
USB/iPhone/BT AUDIO ソース (音源) は、リピート再生方法を選択します。
- [6▶▶] (再生・一時停止) :
USB/iPhone/BT AUDIO ソース (音源) は、曲を一時停止します。もう一度押すと再生を開始します。

⑨ [BT] ボタン

BT AUDIO ソース (音源) を選択します。

⑩ [BAND] (バンド)

FM 放送 (FM1/FM2) と AM 放送 (AM1/AM2) を切り替えます。

⑪ [Q/S] [TI] (検索/戻る)

- USB/iPhone/BT AUDIO ソース (音源) で曲やフォルダー、ファイルを検索するモードに入ります。
- “FUNCTION” (機能設定) モード時は、ひとつ前の設定項目に戻ります。“FUNCTION” モードを解除するには数回繰り返し押しします。
- 押し続けると交通情報に切り替わります。

⑫ USB 機器接続端子

USB 機器、iPhone を接続します。

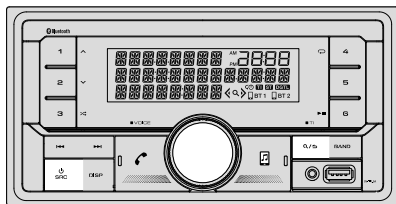
⑬ 外部機器 (AUX) 接続端子

ポータブルオーディオプレーヤーなどを接続します (ステレオミニプラグ φ 3.5mm)。

⑭ リセットボタン

リセットをします。(→ P.6)

曜日と時刻を合わせる



- 1 ボリュームノブを押して
“FUNCTION” モードに入る
- 2 ボリュームノブを回して “CLOCK”
を選び、ボリュームノブを押す

時刻を合わせる

- 3 ボリュームノブを回して
“CLOCK ADJUST” を選び、ボ
リュームノブを押す
- 4 ボリュームノブを使い以下の順番で
時刻を合わせる
「時」→「分」（回して選択、押して確定）
- 5 ボリュームノブを回して
“CLOCK FORMAT” を選び、ボ
リュームノブを押す
- 6 ボリュームノブを回して “12H” ま
たは “24H” を選び、ボリュームノ
ブを押す

日付を合わせる

- 7 ボリュームノブを回して
“DATE FORMAT” を選び、ボリュ
ームノブを押す
- 8 ボリュームノブを回して “DD/MM/
YY”（日/月/年）または “MM/
DD/YY”（月/日/年）を選び、ボ
リュームノブを押す
- 9 ボリュームノブを回して
“DATE SET” を選び、ボリューム
ノブを押す
- 10 ボリュームノブを使い以下の順番で
日付を合わせる

「日」→「月」→「年」または「月」→「日」→
「年」（回して選択、押して確定）



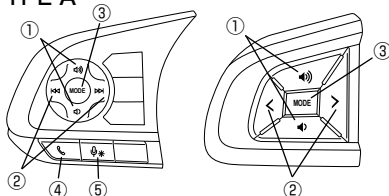
- ・【Q/△】を押すと、ひとつ前の設定項
目に戻ります。
- ・“FUNCTION” モードを解除するには、
【Q/△】を数回繰り返し押します。

ステアリングリモコンを使う

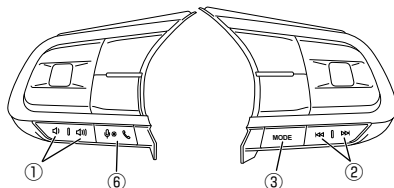
ステアリングスイッチが装着されている場合、ステアリングスイッチから本機を操作することができます。

- ・と*スイッチは車両により対応していない場合があります。
- ・一部の車両では下記以外のスイッチが装備されている場合があります。その場合、表示と動作が異なる、または動作しない場合があります。

TYPE A



TYPE B

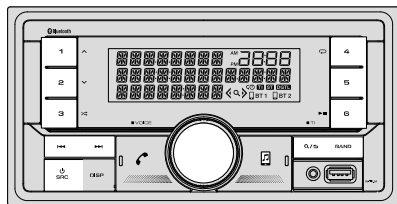


ボタン	項目	説明
①	 / 	AVの音量を調整 (0 ~ 35) します。 ハンズフリー電話中は、着信音量と受話音量を調整 (0 ~ 35) します。
②	 または </>	- FM/AM : 周波数が切り替わります。切り替わり方は SEEK モードの設定 (AUTO1, AUTO2 または MANUAL) により異なります。 "AUTO1" : 放送局を自動的に受信します。 "AUTO2" : 登録されている放送局を順番に受信します。 "MANUAL" : 1 ステップずつ周波数が切り替わります。押し続けると連続して周波数が切り替わります。 - 交通情報 : 1620 kHz または 1629 kHz を切り替えます。 - 音楽再生 : 前 / 次の曲またはファイルを再生します。押し続けると、早送り / 早戻しします。
③	MODE	- 音源を切り替えます。機器が接続されていないなど、選択できない音源はスキップされます。 - 押し続けると「STANDBY」になります。
④		- 着信中はハンズフリーの電話を受け付けます。通話中に押し続けるとハンズフリーの電話を切ります。(Bluetooth 接続中) - ハンズフリー電話の履歴を表示します。
⑤		押し続けるとスマートフォンの音声認識機能が起動します。もう一度押し続けると音声認識機能を終了します。
⑥	 	- 着信中はハンズフリーの電話を受け付けます。通話中に押し続けるとハンズフリーの電話を切ります。(Bluetooth 接続中) - ハンズフリー電話の履歴を表示します。 - 押し続けるとスマートフォンの音声認識機能が起動します。もう一度押し続けると音声認識機能を終了します。



- ・ FACTORY RESET (→ P.29) を行うとステアリングリモコンが動作が変わる場合があります。ステアリングリモコンのタイプは "STEER.REMOTE" (→ P.29) で設定します。

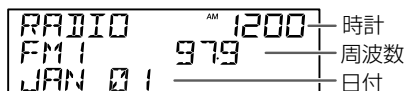
AM または FM を聴く



ラジオに切り替える

- 1 【SRC】を繰り返し押して“RADIO”を選ぶ

■ ディスプレイの表示



放送局を探す

- 1 【BAND】を繰り返し押して、FM1、FM2、または AM1、AM2 を選ぶ
- 2 【◀▶】 / 【▶▶】を押して、放送局を探す



・ 【◀▶】 / 【▶▶】を押したときの選局方法を切り替えることができます。
(→ P.13)

放送局を登録する

放送局の登録方法 (PRESET TYPE) には、“NORMAL” モードと “MIX” モードがあります。
(→ P.13)

■ “NORMAL” モード

バンドごとに、6 つの放送局を登録できます。

■ “MIX” モード

バンドに関係なく、6 つの放送局を登録できます。

手動でプリセットをする

- 1 登録したい放送局を探す
- 2 放送局を登録する数字ボタン ([1] ~ [6]) を押し続ける
放送局が登録されると「STORED」と表示されます。
- 3 放送局を各数字ボタンに登録し終わるまで、手順 1 と手順 2 を繰り返す

自動でプリセットをする

登録方法 (PRESET TYPE) が “NORMAL” モードに設定しているときに使用できます。

(→ P.13)

- 1 ボリュームノブを押して “FUNCTION” モードに入る
- 2 ボリュームノブを回して “TUNER SETTING” を選び、ボリュームノブを押す
- 3 ボリュームノブを回して “AUTO MEMORY” を選び、ボリュームノブを押す
- 4 ボリュームノブを回して “YES” を選び、ボリュームノブを押す
受信状態の良い放送局を自動的に 6 局登録します。

登録した放送局を受信する

- 1 数字ボタン ([1] ~ [6]) を押して放送局を選びます。

ラジオの設定をする

ラジオの設定を変更します。

選局方法を切り替える

【◀▶】 / 【▶▶】 ボタンを押したときの選局方法を選ぶことができます

- 1 ボリュームノブを押して
“FUNCTION” モードに入る
- 2 ボリュームノブを回して
“TUNER SETTING” を選び、ボ
リュームノブを押す
- 3 ボリュームノブを回して
“SEEK MODE” を選び、ボリュ
ームノブを押す
- 4 ボリュームノブを回して設定したい
検索方法を選び、ボリュームノブを
押す
 - “AUTO1”（初期設定）：放送局を自動的
に受信します。
 - “AUTO2”：登録されている放送局を順番
に受信します。
 - “MANUAL”：1 ステップずつ周波数が変
わります。
- 5 【Q/△】を数回押し、“FUNCTION”
モードを解除する

放送局の登録方法を切り替える

- 1 【◀SRC】を繰り返し押して
“STANDBY” を選ぶ
- 2 ボリュームノブを押して
“FUNCTION” モードに入る
- 3 ボリュームノブを回して
“TUNER SETTING” を選び、ボ
リュームノブを押す
- 4 “PRESET TYPE” と表示されてい
るのを確認しボリュームノブを押す
- 5 ボリュームノブを押して設定したい
登録方法を選び、ボリュームノブを
押す
 - “NORMAL”（初期設定）：バンドごとに、
6 つの放送局を登録できます。
 - “MIX”：バンドに関係なく、6 つの放送
局を登録できます。

- 6 【Q/△】を数回押し、“FUNCTION”
モードを解除する

交通情報を受信する

- 1 【Q/△ ■ TI】を押し続ける

交通情報を受信します。

ディスプレイの「TI」表示が点灯します。



- もう一度【Q/△ ■ TI】を押し続け
ると、交通情報受信前の状態に戻りま
す。

交通情報の周波数を切り替えるには

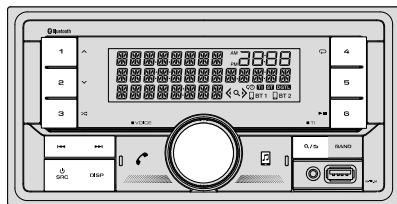
- 1 交通情報を受信中に【◀▶】 / 【▶▶】
を押す

周波数が 1,620 kHz または 1,629 kHz
に切り替わります。

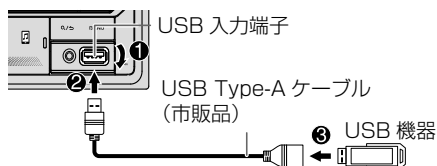


- 交通情報を受信中に音量を調節すると、
その音量が自動的に記憶され、次に交
通情報を受信したときも同じ音量で聞
くことができます。

USB 機器のファイルを再生する



USB 機器を接続する



自動的にソース（音源）が“USB”に切り替わり、再生が始まります。



- 接続ケーブルは車内に放置しないでください。
- USB は USB 延長ケーブルを使用せずに接続すると USB が突起物となり危険です。USB 延長ケーブル（市販品）を使用して接続してください。
- 接続機器および接続ケーブルは、運転を妨げないように引き回し、固定してご使用ください。

USB に切り替える

1 【SRC】を繰り返し押して“USB”を選ぶ

● ボタンとはたらき

動作	操作パネル
再生 / 一時停止をする	【6 ▶ 】を押す
早戻し / 早送りをする	【1 ◀◀】 / 【2 ▶▶】を押し続ける
ファイルを選ぶ	【1 ◀◀】 / 【2 ▶▶】を押す
フォルダーを選ぶ	【1 へ】 / 【2 へ】を押す
リピート再生をする	【4 ↺】を繰り返し押す “FILE REPEAT” / “FOLDER REPEAT” / “ALL REPEAT”

動作	操作パネル
ランダム再生をする	【3 〽】を繰り返し押す “FOLDER RANDOM” / “RANDOM OFF”
	【3 〽】を押し続けて、“ALL RANDOM”を選ぶ

■ ディスプレイの表示

USB	AM 1200	時計
SONG TITLE		中段
ARTIST		(下段)

1 【DISP】を押す

中段（下段）に表示される情報が変わります。
 曲名（アーティスト）→ 曲名（アルバム名）
 → 曲名（日付）→ ファイル名（フォルダー名）
 → ファイル名（日付）→ 再生時間（日付）→
 最初に戻る



- 情報がいない場合は「NO INFO」が表示されるか、何も表示されません。

再生する MUSIC DRIVE を選ぶ

1 【5】を繰り返し押す

以下のドライブに保存されている曲が再生されます。

- ・スマートフォンの内蔵や外部メモリー（マストレージクラス）
- ・マルチドライブ機器中の選ばれたドライブ



本機は4ドライブまでのマルチドライブ機器を利用可能です。しかし、3枚以上のカードが接続されているときは、読み込みに時間がかかる場合があります。

“FUNCTION”メニューからMUSIC DRIVE を選ぶ

- 1 ボリュームノブを押して“FUNCTION”モードに入る
- 2 ボリュームノブを回して“USB”を選び、ボリュームノブを押す
- 3 ボリュームノブを回して“MUSIC DRIVE”を選び、ボリュームノブを押す
- 4 ボリュームノブを回して“DRIVE CHANGE”を選び、ボリュームノブを押す

次のドライブ（“DRIVE 1”～“DRIVE 4”）が、自動的に選ばれ、再生が開始されます。

- 5 手順1～4までを繰り返し、後続のドライブを選ぶ
- 6 【Q/△】を数回押し、“FUNCTION”モードを解除する



- ・【Q/△】を押すと、ひとつ前の設定項目に戻ります。

再生するファイルを選ぶ

フォルダーから選ぶ

- 1 【Q/△】を押す
 - 2 ボリュームノブを回してフォルダーを選び、ボリュームノブを押す
 - 3 ボリュームノブを回してファイルを選び、ボリュームノブを押す
- 選んだファイルが再生されます。



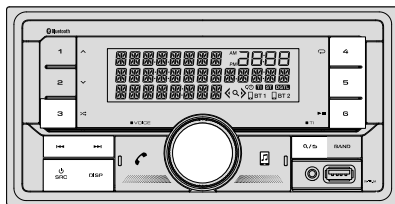
- ・【Q/△】を押すと、フォルダー階層をひとつ上げることができます。
- ・一番上のフォルダー階層で【Q/△】を押すと検索モードを解除します。

クイックサーチ

ファイルが多くあるときに、速く検索できます。

- 1 【Q/△】を押す
 - 2 ボリュームノブを回してフォルダーを選び、ボリュームノブを押す
 - 3 ボリュームノブを速く回してリストを速く検索する
 - 4 ボリュームノブを回してファイルを選び、ボリュームノブを押す
- 選んだファイルが再生されます。

iPhone を再生する



iPhone を接続する

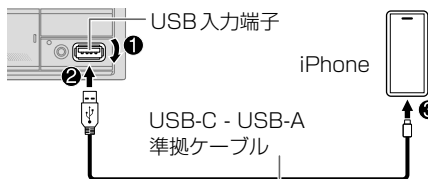
「IPHONE」ソース（音源）で iPhone を再生するときの接続方法は、USB 接続または Bluetooth 接続です。

USB 接続の場合

● iPhone が Lightning コネクタの場合



● iPhone が USB-C コネクタの場合



自動的にソース（音源）が「IPHONE」に切り替わり、再生が始まります。



- iPhone の接続には、Apple 製の Lightning-USB ケーブルをお使いください。USB-C - Lightning ケーブルでは接続できません。
- 接続ケーブルは車内に放置しないでください。
- 接続機器および接続ケーブルは、運転を妨げないように引き回し、固定してご使用ください。

Bluetooth 接続の場合

iPhone を Bluetooth 接続する場合は、あらかじめ iPhone を Bluetooth 機器として登録してください。

登録方法は、「Bluetooth 機器をはじめてペアリング・接続する」(→ P.19) ご覧ください。

iPhone に切り替える

1 【SRC】を繰り返し押して 「IPHONE USB」または 「IPHONE BT」を選ぶ

● ボタンとはたらき

動作	操作パネル
再生 / 一時停止をする	[6▶] を押す
早戻し / 早送りを する	[◀◀] / [▶▶] を押し続ける
ファイルを選ぶ	[◀◀] / [▶▶] を押す
リピート再生を する	[4↺] を繰り返し押す "REPEAT ALL" / "REPEAT ONE" / "REPEAT OFF"
ランダム再生を する	[3↻] を繰り返し押す "SHUFFLE ON" / "SHUFFLE OFF"

■ ディスプレイの表示



1 【DISP】を押す

中段（下段）に表示される情報が変わります。
 曲名（アーティスト）→ 曲名（アルバム名）
 → 曲名（日付）→ 再生時間（日付）→ 最初に戻る



- ・ 情報がない場合は「NO INFO」が表示されるか、何も表示されません。

再生するファイルを選ぶ

リストから選ぶ

- 1 【Q/△】を押す
- 2 ボリュームノブを回してカテゴリを選び、ボリュームノブを押す
- 3 ボリュームノブを回してファイルを選び、ボリュームノブを押す
 選んだファイルが再生されます。

アルファベットで検索する

ファイルの頭文字で検索できます。

- 1 【Q/△】を押す
- 2 ボリュームノブを回してカテゴリを選び、ボリュームノブを押す
- 3 ボリュームノブを一度素早く回して、文字検索を始める
 “SEARCH ()” と表示されます。
- 4 ボリュームノブを回して文字を選ぶ
 A ~ Z または 0 ~ 9 以外の文字の場合は、【*】を選びます。
- 5 【◀◀】 / 【▶▶】を押して、入力的位置を移動する
 3 文字まで入力できます。
- 6 ボリュームノブを押して検索を始める

7 ボリュームノブを回してファイルを選び、ボリュームノブを押す

選んだファイルが再生されます。



- ・ ルートフォルダー / 最初のファイル / トップメニューに戻るには、【5】を押します。
- ・ 【Q/△】を押すと、ひとつ前の項目に戻ります。
- ・ 一番上の階層で【Q/△】を押すと検索モードを解除します。

スキップサーチ

選んだリストにファイルが多くある場合、“SKIP SEARCH” で選んだ速さで、より素速くファイルを検索することができます。

- 1 【Q/△】を押す
- 2 ボリュームノブを回してリストを選び、ボリュームノブを押す
- 3 【◀◀】 / 【▶▶】を押してあらかじめ設定した速さで検索する
 【◀◀】 / 【▶▶】を押し続けると、連続して検索します。
- 4 ボリュームノブを回してファイルを選び、ボリュームノブを押す
 選んだファイルが再生されます。

■ SKIP SEARCH の設定

- 1 ボリュームノブを押して“FUNCTION”モードに入る
- 2 ボリュームノブを回して“USB”を選び、ボリュームノブを押す
- 3 ボリュームノブを回して“SKIP SEARCH”を選び、ボリュームノブを押す
- 4 ボリュームノブを回してスキップサーチの割合を選び、ボリュームノブを押す
 “0.5%”（初期設定）/ “1%” / “5%” / “10%”
 検索の速さは、総ファイル数との割合を%で示しています。
- 5 【Q/△】を数回押し、“FUNCTION”モードを解除する

外部接続機器を聞く

AUX 入力端子に接続したポータブルオーディオプレーヤーから音楽を聴くことができます。

再生する

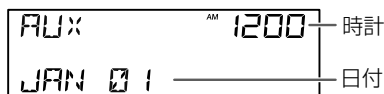
- 1 ポータブルオーディオプレーヤー（市販品）を接続する



L 字型コネクターのステレオミニプラグ
(3.5 mm、市販品)

- 2 【SRC】を繰り返し押して“AUX”を選ぶ
- 3 ポータブルオーディオプレーヤーの電源をオンにして、再生を始める

■ ディスプレイの表示



外部機器の名前を設定する

本機に接続しているポータブルオーディオプレーヤーを聞いているときに、

- 1 ボリュームノブを押して“FUNCTION”モードに入る
- 2 ボリュームノブを回して“SYSTEM”を選び、ボリュームノブを押す
- 3 ボリュームノブを回して“AUX NAME SET”を選び、ボリュームノブを押す
- 4 ボリュームノブを回して設定したい名前を以下の6つから選び、ボリュームノブを押す

“AUX”（初期設定）/ “DVD” / “PORTABLE”
/ “GAME” / “VIDEO” / “TV”

- 5 【Q/△】を数回押し、“FUNCTION”モードを解除する



・【Q/△】を押すと、ひとつ前の設定項目に戻ります。

Bluetooth® 機器の登録と設定

本機は、Bluetooth 対応機器（スマートフォン、携帯電話、オーディオプレーヤーなど）を登録して、ハンズフリー通話や Bluetooth オーディオの再生ができます。

Bluetooth 機器をはじめてペアリング・接続する

本機で Bluetooth 機器を利用できるように登録（ペアリング）します。



- 本機は Secure Simple Pairing (SSP) に対応しています。
- Bluetooth の対応プロファイルについては、32 ページをご覧ください。
- 合計 5 台まで登録（ペアリング）できます。
- 60 日以上接続がなかった Bluetooth 機器は、そのデバイス情報が削除されます。

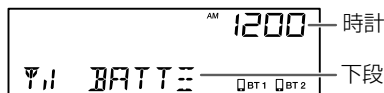
1 Bluetooth 機器で本機の名称 (BK-W75D) を検索して選ぶ

「PAIRING」→「PASS XXXXXX」→ 機器名 → 「PRESS」→ 「VOLUME KNOB」と表示されます。

2 ボリュームノブを押してペアリングを開始する

ペアリングが終了すると「PAIRING OK」と表示され Bluetooth 接続されます。

■ ディスプレイの表示



- ディスプレイの「BT 1」表示か「BT 2」表示、または両方が点灯します。
- “BATT/SIGNAL” (→ P.22) の設定に依りて、接続している機器のバッテリーと信号の強度が下段に表示されます。



- 一度ペアリングを行うと、本機をリセットしても、Bluetooth 機器は登録されたままになります。登録した機器を削除するには “DEVICE DELETE” (→ P.20) をご覧ください。

- 同時に Bluetooth 搭載の携帯電話 2 台とオーディオ機器 1 台を使用することができます。登録した機器を接続または接続解除するには、“BT MODE” の “PHONE SELECT” または “AUDIO SELECT” をご覧ください。(→ P.20)
- BT AUDIO では、5 台の Bluetooth 機器を接続することができ、その中から 1 台を切り替えて選ぶことができます。(→ P.25)
- Bluetooth 機器によっては、ペアリング後も、本機に自動的に接続されない場合があります。その場合は、手動で接続してください。
- 詳しくはお使いの Bluetooth 機器の説明書をご覧ください。

オートペアリング機能で登録する

iPhone を USB 入力端子に USB 接続すると、オートペアリングの機能がはたらき、簡単に iPhone を登録できます。

オートペアリング機能は、“AUTO PAIRING” が “ON” に設定されていると働きます。(→ P.20)

1 iPhone の Bluetooth 設定をオンにする

2 iPhone を USB 接続する

接続方法は 16 ページをご覧ください。

3 機器名を確認してから、ボリュームノブを押してペアリングをする



- iOS のバージョンによっては登録できないことがあります。

Bluetooth の設定をする

- 1 ボリュームノブを押して
“FUNCTION” モードに入る
- 2 ボリュームノブを回して
“BT MODE” を選び、ボリュームノブを押す
- 3 ボリュームノブを回して設定したい項目を選び、ボリュームノブを押す
- 4 手順 3 を繰り返して項目を選び、選んだ項目の表中の指示に従って操作する



- ・【Q/△】を押すと、ひとつ前の設定項目に戻ります。
- ・“FUNCTION” モードを解除するには、【Q/△】を数回繰り返し押します。

初期設定：XX

項目	説明
PHONE SELECT *	接続または接続解除する携帯電話を選びます。 接続されると機器名の前に「*」と表示されます。
AUDIO SELECT *	接続または接続解除するオーディオ機器を選びます。 接続されると機器名の前に「*」と表示されます。 使用中のオーディオ機器の前に「▷」と表示されます。
DEVICE DELETE	本機に登録した Bluetooth 機器を削除します。(→ P.20)
RECONNECT	OFF/ON：この機能をオンにすると、最後に接続した Bluetooth 機器が感知範囲内に入った場合に、自動的に再接続します。
AUTO PAIRING	ON：Bluetooth 搭載の iPhone を USB 端子に接続している場合に自動的にペアリングします。接続している機器の OS によっては、この機能が使えないことがあります。 OFF：この機能は使用しません。
INITIALIZE	YES：Bluetooth の全設定（登録されているペアリング、電話帳など）を初期化します。 NQ：この機能は使用しません。

* 接続されている携帯電話 2 台とオーディオ機器 1 台を同時に利用することができます。

登録した機器を削除する

本機に登録した Bluetooth 機器を削除します。

- 1 ボリュームノブを押して
“FUNCTION” モードに入る
- 2 ボリュームノブを回して
“DEVICE DELETE” を選び、ボリュームノブを押す
- 3 ボリュームノブを回して削除する機器を選び、ボリュームノブを押す
- 4 ボリュームノブを回して“YES” または“NO” を選び、ボリュームノブを押す



- ・【Q/△】を押すと、ひとつ前の設定項目に戻ります。
- ・“FUNCTION” モードを解除するには、【Q/△】を数回繰り返し押します。

Bluetooth テストモード

本機と Bluetooth 機器間で使用できるプロファイルを確認できます。
Bluetooth 機器がペアリングされていないことを確認してください。

- 1 【P】を押し続ける
「PLEASE PAIR YOUR PHONE」（電話をペアリングしてください）というメッセージがディスプレイに表示されます。
- 2 Bluetooth 機器で本機の名称（BK-W75D）を探して選ぶ
- 3 Bluetooth 機器を操作してペアリングする

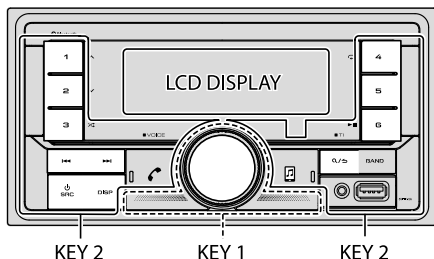
本機のディスプレイに「TESTING」（テスト中）のメッセージが点滅します。

- テスト終了後、以下の項目に「OK」または「NG」のテスト結果が表示されます。
 - ・「PAIRING」：ペアリングが可能か。
 - ・「HF CNT」：ハンズフリー通話に対応しているか。
 - ・「AUD CNT」：オーディオ機器として A2DP プロファイルに対応しているか。
 - ・「PB DL」：電話帳転送のための PBAP プロファイルに対応しているか。

テストモードを終了する

- 1 【P SRC】を押し続ける
本機の電源がオフになります。

ハンズフリーを使う



電話を受ける

電話を着信すると、KEY 1 ゾーンと KEY 2 ゾーンが緑色に点滅します。



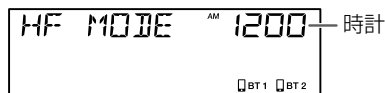
- “AUTO ANSWER” で時間設定をしていると自動的に電話を受けます。(→ P.22)

- 1 【】、ボリュームノブまたは【1】～【6】のいずれかを押す
- 2 通話が終わったら、【】を押す

■ 着信を拒否する

- 1 【】を押す

■ ディスプレイの表示



通話中の操作

通話中は、KEY 1 ゾーンと KEY 2 ゾーンが緑色に光ります。また、LCD DISPLAY ゾーンは“COLOR SELECT” で設定した色で光ります (→ P.30)。

● 通話中のボタンとはたらき

動作	操作パネル
受話音量を調節する *1 「00」～「35」（初期設定：「15」）	通話中にボリュームノブを回す
普通通話モードとハンズフリー通話を切り替える *2	通話中に【6 ▶III】を押す

*1 ここで調節する音量は、他のソース（音源）の音量調節には影響しません。

*2 接続している Bluetooth 機器によっては、操作方法が異なる場合があります。

● 割り込み通話が発生中のボタンとはたらき

動作	操作パネル
通話中にいまの電話を保留にして他の電話を受ける	【】を押す
通話中に他の着信を拒否する	【】を押す

● 割り込み通話中のボタンとはたらき

動作	操作パネル
現在の通話を終了し、保留中の電話に切り替える	【】を押す
現在の通話と保留中の電話を切り替える	【】を押す



- 本機の電源を切ると、Bluetooth の接続が解除されます。
- 接続している携帯電話によっては、操作方法が異なったり、できないことがあります。

初期設定：XX

送話音質を調節する

- 1 通話中に、ボリュームノブを押して“FUNCTION”モードに入る
- 2 ボリュームノブを回して設定したい項目を選び、ボリュームノブを押す
- 3 手順2を繰り返して項目を選び、設定する



- ・【Q/△】を押すと、ひとつ前の設定項目に戻ります。

初期設定：XX

項目	説明
MIC GAIN	LEVEL -10 ～ LEVEL +10 (LEVEL 0)：数値が大きくなるほど、マイクの感度が高くなります。
NR LEVEL	LEVEL -5 ～ LEVEL +5 (LEVEL 0)：通話中の雑音を低減するように調節します。
ECHO CANCEL	LEVEL -5 ～ LEVEL +5 (LEVEL 0)：通話中のエコーを低減するように調節します。



- ・お使いの携帯電話により通話音質は異なります。

受信の設定をする

- 1 【F】を押してハンズフリーモード(“HF MODE”)に入る
- 2 ボリュームノブを回して“SETTINGS”を選び、ボリュームノブを押す
- 3 ボリュームノブを回して設定したい項目を選び、ボリュームノブを押す
- 4 手順3を繰り返して項目を選び、設定する



- ・【Q/△】を押すと、ひとつ前の設定項目に戻ります。

項目	説明
AUTO ANSWER	1 ～ 30：電話がかかって来てから設定した時間(秒)が経過すると、自動的に電話を受けます。 OFF：この機能は使用しません。
BATT/SIGNAL*	AUTO：本機がBluetooth機器を検知して、その機器が接続されている場合、バッテリーと信号の強度がディスプレイ(→ P.19)に表示されます。 OFF：この機能は使用しません。

* お使いの携帯電話が対応しているときのみ使うことができます。

電話をかける

電話番号をダイヤルするだけでなく、履歴や電話帳を使い電話をかけることができます。音声認識のついた携帯電話をお使いのときは、音声で電話をかけることもできます。

1 【F】を押してハンズフリーモード(“HF MODE”)に入る

最初の機器名が表示されます。

Bluetooth 携帯電話を2台接続している場合は、もう一度【F】を押すと別の携帯電話に切り替わります。2台目の機器名が表示されます。

2 ボリュームノブを回して設定したい項目を選び、ボリュームノブを押す



- ・【Q/△】を押すと、ひとつ前の設定項目に戻ります。

項目	説明
CALL HISTORY	「履歴から電話をかける」をご覧ください。(→ P.23)
PHONE BOOK	「電話帳から電話をかける」をご覧ください。(→ P.23)
NUMBER DIAL	「ダイヤルして電話をかける」をご覧ください。(→ P.23)
VOICE	接続している携帯電話から音声認識で電話をかけられるようになります。「音声認識で電話をかける」をご覧ください。(→ P.23)
BATT	電池の残量 (LOW/MID/FULL) を表示します。*
SIGNAL	現在受信している信号の強さ (NO SIGNAL/LOW/MID/MAX) を表示します。*

* お使いの携帯電話が対応しているときのみ使うことができます。

履歴から電話をかける

PBAP 対応機器の場合は不在着信、着信、発信履歴から発信することができます。

PBAP に対応していない機器は使用できません。

- 1 ボリュームノブを回して
“CALL HISTORY” を選び、ボ
リュームノブを押す
- 2 ボリュームノブを押して名前または
電話番号を選ぶ
 - ・「INCOMING」(着信)、「OUTGOING」(発信)、「MISSED」(未受信)の履歴タイプがディスプレイ下部に表示されます。
 - ・「DISP」を押して「NUMBER」(電話番号)表示か「NAME」(名前)表示かを切り替えます。
 - ・履歴が記録されていないときは、「NO DATA」と表示されます。

- 3 ボリュームノブを押して電話をかけ
る

電話帳から電話をかける

電話帳から電話番号を選んで発信します。

PBAP に対応していない機器は使用できません。

- 1 ボリュームノブを回して
“PHONE BOOK” を選び、ボリュー
ムノブを押す
- 2 ボリュームノブを素早く回す
アルファベット検索モードになります。
「A」～「K」までの文字がディスプレイに表示されます。
 - ・「L」以降の文字列「LMNOPQRSTUVWXYZ」または「WXYZ1*」を表示するには、
[1 へ] / [2 へ] を押します。
 - ・最初のアルファベットを選ぶには、ボ
リュームノブを回すか、[◀] / [▶] を
押してからボリュームノブを押します。
 - ・数字で始まる「名前」を選ぶときは、「1」
を選びます。
 - ・記号で始まる「名前」を選ぶときは、「*」
を選びます。

- 3 ボリュームノブを回して名前を選び、
ボリュームノブを押す
- 4 ボリュームノブを回して電話番号を
選び、ボリュームノブを押して電話
をかける



- ・電話帳を使うときは、お使いのスマート
フォンへのアクセス、またはスマート
フォンからの転送を許可してくださ
い。接続した携帯電話によっては、操
作方法が異なる場合があります。
- ・連絡先は次のように分けられます：
「HOME」(自宅)、「OFFICE」(勤務先)、
「MOBILE」(携帯電話)、「OTHER」(そ
の他)、「GENERAL」(一般)
- ・電話帳は標準的なアルファベットのみ
表示できます。アクセント記号は表示
できません(「Ú」などは「U」と表示
されます)。

ダイヤルして電話をかける

- 1 ボリュームノブを回して
“NUMBER DIAL” を選び、ボリュー
ムノブを押す
- 2 ボリュームノブを回して数字 (0 ～
9) またはアルファベット (*、#、+) を
選ぶ
- 3 [◀] / [▶] を押して入力の位
置を移動する
電話番号を入力し終わるまで、手順2と手
順3を繰り返します。
- 4 ボリュームノブを押して電話をかけ
る

音声認識で電話をかける

- 1 ボリュームノブを回して “VOICE”
を選び、ボリュームノブを押す、
または [☞ ■ VOICE] を押し続け
る
接続している携帯電話から音声認識で電話を
かけられるようになります。
- 2 電話をかけたい相手の名前を言う
ボイスコマンドを使い、電話の他の機能を利用
することもできます。



- ・対応している音声認識機能は、携帯電
話によって異なります。詳しくはお使
いの携帯電話の説明書をご覧ください。

連絡先を短縮ダイヤルに登録する

連絡先は、数字ボタン【1】～【6】に6件まで登録して、短縮ダイヤルとして利用できます。

- 1 【】を押してハンズフリーモード（“HF MODE”）に入る
- 2 ボリュームノブを回して“CALL HISTORY”、“PHONE BOOK”、または“NUMBER DIAL”を選び、ボリュームノブを押す
- 3 ボリュームノブを回して、名前を選ぶか、電話番号を入力する
- 4 連絡先を登録する数字ボタン（【1】～【6】）を押し続ける

名前を選んだ後、ボリュームノブを押すと、電話番号を表示させることができます。

連絡先が登録されると「STORED」と表示されます。

■ 登録した連絡先を数字ボタンから削除する

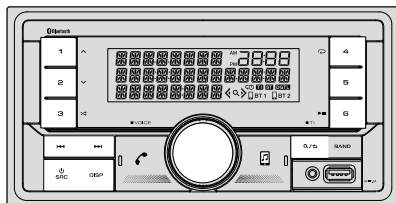
手順2で“NUMBER DIAL”を選び、手順3で番号を入力せず、手順4を行います。

登録されている短縮ダイヤルに電話をかける

- 1 【】を押してハンズフリーモード（“HF MODE”）に入る
- 2 数字ボタン（【1】～【6】）を押す
- 3 ボリュームノブを押して電話をかける

押した数字ボタンに連絡先が登録されていないときは、「NO MEMORY」と表示されます。

Bluetooth オーディオ機器を再生する



BT AUDIO に切り替える

- 1 【SRC】を繰り返し押して
“BT AUDIO” を選ぶ
- 2 Bluetooth 接続しているオーディオ
機器の再生を本機で操作する

● ボタンとはたらき

動作	操作パネル
再生 / 一時停止をする	【6▶ 】を押す
グループまたはフォルダーを選ぶ	【1▲】 / 【2▼】を押す
曲 / ファイルを選ぶ	【<<】 / 【>>】を押す
早戻し / 早送りを する	【<<】 / 【>>】を押し続ける
リピート再生を する	【4↺】を繰り返し押す “ALL REPEAT” / “FILE REPEAT” / “GROUP REPEAT” / “REPEAT OFF”
ランダム再生を する	【3↻】を押し続けて、“ALL RANDOM” または “GROUP RANDOM” を選ぶ ・【3↻】を押して “RANDOM OFF” を選びます。
フォルダーまたは リストからファイル を選ぶ	「再生するファイルを選ぶ」(→ P.17) をご覧ください。
接続している Bluetooth オー ディオ機器を切り 替える	【5】を押す (接続している機器の再生ボタン を押しても、機器を切り替えら れます。)

- ・ 接続している機器によっては、ご利用
にできない機能があります。

■ ディスプレイの表示



1 【DISP】を押す

中段 (下段) に表示される情報が変わります。
曲名 (アーティスト) → 曲名 (アルバム名)
→ 曲名 (日付) → 再生時間 (日付) → 最初
に戻る



- ・ 情報がない場合は「NO INFO」が表示
されるか、何も表示されません。

■ Bluetooth オーディオ機器を切り替える

Bluetooth 機器を同時に 5 台まで接続できます。
これら 5 台の Bluetooth 機器を簡単に切り替え
て再生できます。

1 【5】を押す



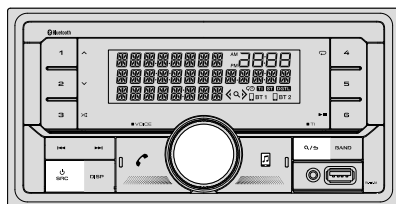
- ・ “AUDIO SELECT” (→ P.20) で
Bluetooth 機器を接続状態にする必要
があります。接続状態は機器名の前に
「*」と表示されます。



- ・ 接続している機器によっては、操作や
ディスプレイ表示が異なる場合があります。

サウンドを設定する

音質、音響効果など、本機のサウンドに関する項目を設定します。



- サウンドの設定は、“STANDBY”以外のソース（音源）を選択しているときに行ってください。
- 【Q/△】を押すと、ひとつ前の設定項目に戻ります。
- “FUNCTION” モードを解除するには、【Q/△】を数回繰り返し押します。

- 1 ボリュームノブを押して“FUNCTION”モードに入る
- 2 ボリュームノブを回して“AUDIO CONTROL”を選び、ボリュームノブを押す
- 3 ボリュームノブを回して設定したい項目を選び、ボリュームノブを押す
- 4 手順3を繰り返して項目を選び、選んだ項目の表中の指示に従って操作する

設定できる項目は以下のとおりです。

初期設定：XX

項目	説明
EASY EQ	お好みに合わせて音声を調節する。 • 設定は“PRESET EQ”の“USER”に登録されています。 • 調節した設定により“MANUAL EQ”の現在の設定も変わります。
BASS	LEVEL -9 ～ LEVEL +9 (LEVEL 0)
MID	LEVEL -9 ～ LEVEL +9 (LEVEL 0)
TRE	LEVEL -9 ～ LEVEL +9 (LEVEL 0)

項目	説明
MANUAL EQ	音質（周波数、トーンレベル、Q ファクター）をお好みに合わせて調節します。 • 設定は“PRESET EQ”の“USER”に登録されています。 • 調節した設定により“EASY EQ”の現在の設定も変わります。
62.5HZ	
LEVEL	LEVEL -9 ～ LEVEL +9 (LEVEL 0)：ソース（音源）ごとに保存されます。 (調節する前に、調節したいソース（音源）を選んでください)
BASS EXTEND	OFF/ON：低音を響かせるか、どうかの設定をします。
100HZ/160HZ/250HZ/400HZ/630HZ/1KHZ/1.6KHZ/2.5KHZ/4KHZ/6.3KHZ/10KHZ/16KHZ	LEVEL -9 ～ LEVEL +9 (LEVEL 0)：ソース（音源）ごとに保存されます。 (調節する前に、調節したいソース（音源）を選んでください)
Q FACTOR	1.35/1.50/2.00：Q ファクターを選びます。
PRESET EQ	NATURAL/ROCK/POPS/EASY/TOP40/JAZZ/POWERFUL/USER：音楽ジャンルに合った設定を選びます。 (“EASY EQ” または“MANUAL EQ”の設定を使うには“USER”を選びます)
BASS BOOST	OFF/LEVEL 1/LEVEL 2/LEVEL 3/LEVEL 4/LEVEL 5：低音のブーストレベルを5段階で調節します。

項目	説明
LOUDNESS	OFF/LEVEL1/LEVEL2：小さな音量で音楽を聞くとときに不足しがちな低音域と高音域の補正量を2つのレベルから選びます。
FADER	R15～F15 (Q)：前後の音量バランスを調節します。
BALANCE	L15～R15 (Q)：左右の音量バランスを調節します。
VOLUME OFFSET	LEVEL -15 ～ LEVEL +6 (LEVEL 0)：FMの音量レベルを基準にして各ソース（音源）の初期音量を設定します。（調節をする前に、設定したいソース（音源）を選びます）

SOUND EFFECT

SOUND RECSTR (Sound reconstruction)	(ソース（音源）が RADIO および AUX のときは使用できません) ON：圧縮オーディオで失われた高音域を補完してリアリティーのあるサウンドを再現します。 OFF：この機能は使用しません。
SPACE ENHANCE	(ソース（音源）が RADIO のときは使用できません) OFF/SMALL/MEDIUM/LARGE：音域の広がりや3段階で調節します。
SOUND REALIZR (Sound realizer)	OFF/LEVEL1/LEVEL2/LEVEL3：リアリティーのあるサウンドを3段階で調節します。
STAGE EQ	OFF/LOW/MIDDLE/HIGH：スピーカー位置の高さを仮想的に3段階で調節します。
DRIVE EQ	OFF/ON：この機能を使うと周波数をあげてロードノイズの影響を低減することができます。

SPEAKER SIZE

FRONT	
SIZE	8CM/10CM/12CM/13CM/16CM/17CM/18CM/4 × 6/5 × 7/6 × 8/6 × 9/7 × 10：接続したスピーカーのサイズに合わせて選びます。
TWEETER	SMALL/MIDDLE/LARGE：接続したフロントスピーカーのツイーターのおおよその大きさに合わせて選びます。 NONE：接続しません。

項目	説明
REAR	8CM/10CM/12CM/13CM/16CM/17CM/18CM/4 × 6/5 × 7/6 × 8/6 × 9/7 × 10：接続したスピーカーのサイズに合わせて選びます。 NONE：接続しません。
DTA SETTINGS	設定するには、「デジタルタイムアライメントの設定をする」(→ P.27) をご覧ください。
CAR SETTINGS	

デジタルタイムアライメントの設定をする

デジタルタイムアライメントはスピーカー出力のタイミングを設定し、車両に合ったよりよい環境を作ります。

詳しくは、「ディレイタイムを自動的に決める」(→ P.28) をご覧ください。

- 1 ボリュームノブを回して“DTA SETTINGS”または“CAR SETTINGS”を選び、ボリュームノブを押す
- 2 ボリュームノブを回して設定したい項目を選び、ボリュームノブを押す
- 3 手順2を繰り返して項目を選び、選んだ項目の表中の指示に従って操作する

初期設定：XX

項目	説明
DTA SETTINGS	
POSITION	リスニングポジション（基準点）を選びます。 ALL：全座席 FRONT RIGHT：右前座席 FRONT LEFT：左前座席 FRONT ALL：前座席
DISTANCE *1	0CM～610CM：補正する距離を詳細に調節してください。（調節する前に、調節するスピーカーを選んでください）
GAIN *1	-8DB～0DB：選択したスピーカーの出力レベルを詳細に調節します。（調節する前に、調節するスピーカーを選んでください）
DTA RESET	YES：選択した“POSITION”の“DISTANCE”と“GAIN”を初期値に戻します。 NO：この機能は使用しません。

項目	説明
CAR SETTINGS	"DTA SETTINGS" 調整のために、車両タイプとリアスピーカーの位置を登録します。
CAR TYPE	COMPACT/FULL SIZE CAR/WAGON/MINIVAN/SUV/MINIVAN(LONG)：車両タイプを選びます。 OFF：全座席
R-SP LOCATION *2	リスニングポジション(基準点)までの距離を計算するために、リアスピーカーの車内位置を登録します。 • DOOR/REAR DECK： "CAR TYPE" が "OFF"、 "COMPACT"、"FULL SIZE CAR"、 "WAGON" または "SUV" の設定のときのみ選べます。 • 2ND ROW/3RD ROW： "CAR TYPE" が "MINIVAN" または "MINIVAN(LONG)" の設定のときのみ選べます。

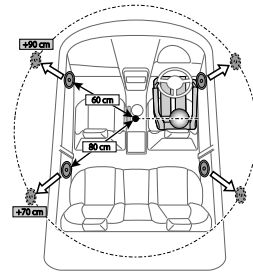
*1 "DTA SETTINGS" の "DISTANCE" および "GAIN" の調節をする前に、スピーカーを選んでください。

"FRONT LEFT" / "FRONT RIGHT" / "REAR LEFT" / "REAR RIGHT"

- "SPEAKER SIZE" の "REAR" に "NONE" 以外を設定しているときのみ、"REAR LEFT" および "REAR RIGHT" を選ぶことができます。(→ P.27)

*2 "CAR SETTING" の "R-SP LOCATION" は、"SPEAKER SIZE" の "REAR" に "NONE" 以外を設定しているときのみ選ぶことができます。(→ P.27)

ディレイタイムを自動的に決める



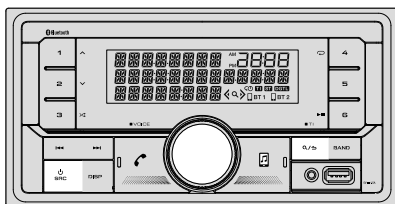
現在選んでいるリスニングポジションからすべてのスピーカーまでの距離を以下の手順で登録すると、ディレイタイムが自動的に計算され設定されます。

- 1 "POSITION" を設定し、基準点としてリスニングポジションを決定する ("FRONT ALL" の基準点は左右前座席の中心です)
- 2 基準点からスピーカーまでの距離を測る
- 3 最も遠くにあるスピーカー (上記のイラストでは、リア左スピーカー) と他のスピーカーとの基準点からの距離の差を計算する
- 4 手順3でそれぞれのスピーカーに計算された値を "DISTANCE" に設定する
- 5 それぞれのスピーカーの "GAIN" を調節する

例："FRONT ALL" がリスニングポジションとして選ばれている場合

設定を変更する

ソース（音源）で **STANDBY** を選んだときのみ、以下の項目の設定をすることができます。



- 1 **【SRC】** を繰り返し押して
“**STANDBY**” を選ぶ
- 2 ボリュームノブを押して
“**FUNCTION**” モードに入る
- 3 ボリュームノブを回して設定したい
項目を選び、ボリュームノブを押す
- 4 手順 3 を繰り返して項目を選び、設
定する



- **【Q/△】** を押すと、ひとつ前の設定項目に戻ります。
- “**FUNCTION**” モードを解除するには、**【Q/△】** を数回繰り返し押します。

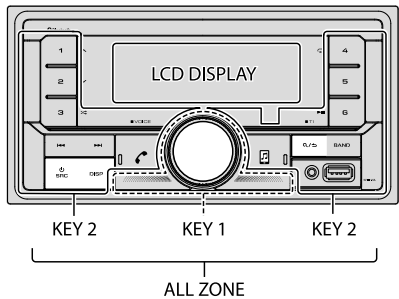
初期設定：XX

項目	説明
DISPLAY	
EASY MENU	設定するには、「 FUNCTION 」モード時の表示色を設定する（→ P.31）をご覧ください。
TUNER SETTING	
PRESET TYPE	設定するには、「放送局の登録方法を切り替える」（→ P.13）をご覧ください。
BT MODE	設定するには、「Bluetooth の設定をする」（→ P.20）をご覧ください。

項目	説明
SYSTEM	
KEY BEEP	OFF/ON：操作時のピープ音をオン/オフにします。
STEER. REMOTE	TYPE A/TYPE B ステアリングリモコンの設定で使用します。設定は販売店で行います。 ステアリングリモコンキーの機能については 11 ページをご覧ください。
F/W UPDATE	
UPDATE SYSTEM	
F/W UP XXX	この機能は使用しません。
FACTORY RESET	YES/NO：この機能を使うと設定が初期設定にリセットされます。（登録した放送局を除く）
CLOCK	
CLOCK ADJUST	設定するには、「曜日と時刻を合わせる」（→ P.10）をご覧ください。
DATE FORMAT	
DATE SET	
CLOCK FORMAT	
CLOCK DISPLAY	ON/OFF：本機の電源がオフのときも、時計が表示されます。

ディスプレイの表示を設定する

色と明るさが設定できるゾーン



ディマーの設定を切り替える

初期設定：XX

車両のライトスイッチに連動して、ディスプレイの明るさを暗くすることができます。

1 【DISP】を押し続ける

- “DIMMER AUTO”（初期設定）：車両のライトスイッチに連動して、ディスプレイを暗くします。
- “DIMMER OFF”：ディスプレイを暗くしません。



• 【DISP】を押し続けて設定を切り替えると、“FUNCTION”モード内の“DIMMER”設定も変更されます。

ディスプレイの設定を切り替える

- 1 ボリュームノブを押して“FUNCTION”モードに入る
- 2 ボリュームノブを回して“DISPLAY”を選び、ボリュームノブを押す
- 3 ボリュームノブを回して設定したい項目を選び、ボリュームノブを押す
- 4 手順3を繰り返して項目を選び、選んだ項目の表中の指示に従って操作する



- 【Q/△】を押すと、ひとつ前の設定項目に戻ります。
- “FUNCTION”モードを解除するには、【Q/△】を数回繰り返し押します。

項目	説明
COLOR SELECT	設定するには、「イルミネーションの色を設定する」(→ P.30)をご覧ください。
DIMMER	ディスプレイの明るさを切り替えます。 AUTO：車両のライトスイッチに連動して、ディスプレイを暗くします。 OFF：ディスプレイを暗くしません。
BRIGHTNESS	設定するには、「LCD DISPLAYの明るさを設定する」(→ P.31)をご覧ください。
TEXT SCROLL	AUTO：5秒間隔でスクロールを繰り返します。 ONCE：表示情報を1回スクロールします。 OFF：この機能は使用しません。

イルミネーションの色を設定する

ALL ZONE、LCD DISPLAY、KEY 1 および KEY 2 のイルミネーションの色をそれぞれ選んでください。

- 1 ボリュームノブを回して“COLOR SELECT”を選び、ボリュームノブを押す
- 2 ボリュームノブを回してゾーンを選び、ボリュームノブを押す（上側のイラストをご覧ください）

3 ボリュームノブを回して選んだゾーンの色を選び、ボリュームノブを押す

"INITIAL COLOR" / "VARIABLESCAN"
/ "CUSTOM R/G/B" / "RED1" / "RED2"
/ "RED3" / "PURPLE1" / "PURPLE2"
/ "PURPLE3" / "PURPLE4" / "BLUE1"
/ "BLUE2" / "BLUE3" / "SKYBLUE1"
/ "SKYBLUE2" / "LIGHTBLUE" / "AQUA1"
/ "AQUA2" / "GREEN1" / "GREEN2"
/ "GREEN3" / "YELLOWGREEN1"
/ "YELLOWGREEN2" / "YELLOW"
/ "ORANGE1" / "ORANGE2" /
"ORANGERED"

■ ユーザー独自の色を設定する

ユーザー独自の色に調節したいときは "CUSTOM R/G/B" を選んでください。自分で調節した色は "CUSTOM R/G/B" に登録されます。

- 1 ボリュームノブを回して "COLOR SELECT" を選び、ボリュームノブを押す
- 2 ボリュームノブを回してゾーンを選び、ボリュームノブを押す (30ページのイラストをご覧ください)
- 3 ボリュームノブを回して "CUSTOM R/G/B" を選び、ボリュームノブを押す
- 4 [◀◀] / [▶▶] を押して調節する色 "R" (赤) / "G" (緑) / "B" (青) を選ぶ
調節中の色が点滅します。
- 5 ボリュームノブを回して色を調節し (0 ~ 9)、ボリュームノブを押す

LCD DISPLAY の明るさを設定する

"DAY" (昼) と "NIGHT" (夜) の明るさをそれぞれ設定します。

- 1 ボリュームノブを回して "BRIGHTNESS" を選び、ボリュームノブを押す
- 2 ボリュームノブを回して "DAY" (昼) または "NIGHT" (夜) を選び、ボリュームノブを押す

3 ボリュームノブを回してゾーンを選び、ボリュームノブを押す (30ページのイラストをご覧ください)

4 ボリュームノブを回して明るさを選び、ボリュームノブを押す

"LEVEL0" ~ "LEVEL31"
("DAY" の初期設定 "LEVEL31")、
("NIGHT" の初期設定 "LEVEL8")

"FUNCTION" モード時の表示色を設定する

- 1 [⏻SRC] を繰り返し押して "STANDBY" を選ぶ
- 2 ボリュームノブを押して "FUNCTION" モードに入る
- 3 ボリュームノブを回して "DISPLAY" を選び、ボリュームノブを押す
- 4 ボリュームノブを回して "EASY MENU" を選び、ボリュームノブを押す
- 5 ボリュームノブを押して設定を選び、ボリュームノブを押す
 - ・ "ON" (初期設定) : LCD DISPLAY のイルミネーションが白色になります。
 - ・ "OFF" : LCD DISPLAY は COLOR SELECT の色のままになります。(→ P.30)
- 6 [Q/↵] を数回押し、"FUNCTION" モードを解除する



・ "EASY MENU" の設定に限らず、"FUNCTION" モードに入ると、KEY 1 ゾーンと KEY 2 ゾーンのイルミネーションが水色になります。

その他の情報

メディアおよびファイルについて

■ 再生できるファイル

USB 機器

- 再生できる音声ファイル：
 - MP3 (.mp3), WMA (.wma), AAC (.aac), AAC (.m4a), WAV (.wav), FLAC (.flac)
- 再生できるファイルシステム：
 - FAT12, FAT16, FAT32



- オーディオファイルが上記に対応していても、機器のタイプや状況により再生できないことがあります。

■ USB 機器について

- USB ハブを介して USB 機器を接続することはできません。
- 全長 5 m 以上の USB ケーブルを使っているときは、再生不良の原因となります。
- 本機は電圧 5 V 以外、消費電流 1.5 A 以上の USB 機器は認識できません。

iPhone について

■ 本機でコントロールできる iPhone について

本機からコントロールできる iPhone は以下のとおりです。

Made for

- iPhone 15 Pro Max
- iPhone 15 Pro
- iPhone 15 Plus
- iPhone 15
- iPhone 14 Pro Max
- iPhone 14 Pro
- iPhone 14 Plus
- iPhone 14
- iPhone SE (3rd generation)
- iPhone 13 Pro Max
- iPhone 13 Pro
- iPhone 13
- iPhone 13 mini
- iPhone 12 Pro Max
- iPhone 12 Pro
- iPhone 12
- iPhone 12 mini
- iPhone SE (2nd generation)
- iPhone 11 Pro Max
- iPhone 11 Pro

- iPhone 11
- iPhone XS Max
- iPhone XS
- iPhone XR



- 本機を選択メニューに表示される曲順は iPhone のものと異なる場合があります。
- iPhone の OS のバージョンによっては、本機では利用できない機能があります。

Bluetooth 機器について

- Bluetooth のバージョンによっては、本機と接続できないことがあります。
- Bluetooth 機器によっては、本機で使用できないことがあります。
- 通信品質は、接続する周辺の環境によって変わります。

■ 対応している Bluetooth のプロファイル

- Hands-Free Profile (HFP)
- Advanced Audio Distribution Profile (A2DP)
- Audio/Video Remote Control Profile (AVRCP)
- Serial Port Profile (SPP)
- Phonebook Access Profile (PBAP)

■ 対応している Bluetooth のコーデック

- Sub Band Codec (SBC)
- Advanced Audio Coding (AAC)

特許権 / 著作権 / 商標など

- Windows Media is a registered trademark or trademark of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.
- This product is protected by certain intellectual property rights of Microsoft. Use or distribution of such technology outside of this product is prohibited without a license from Microsoft.
- Bluetooth® ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。株式会社 JVC ケンウッドは使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。
- Use of the Made for Apple badge means that an accessory has been designed to connect specifically to the Apple product(s) identified in the badge and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with an Apple product may affect wireless performance.
- Apple, iPhone, and Lightning are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries and regions. The trademark "iPhone" is used in Japan with a license from Aiphone K.K.
- IOS は、Cisco の米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- USB Type-C および USB-C は USB Implementers Forum の商標です。

ソフトウェアについて

ソフトウェア使用許諾契約書

【本製品をご使用前に必ずお読みください】

株式会社 JVC ケンウッド（以下、「ライセンサー」）が提供する本体組み込みソフトウェア（以下、「許諾ソフトウェア」）はライセンサーが著作権を有するか、又は再使用許諾をする権利を有し、本契約はこの「許諾ソフトウェア」に関するお客様のご使用条件を定めたものです。

お客様は本件使用許諾契約書の内容にご同意のうえ、この「許諾ソフトウェア」をご使用いただくものと致します。お客様（以下、「使用者」）が「許諾ソフトウェア」を搭載した本製品をご使用された時点で本契約が成立したものと見なされます。

【使用許諾契約書】

第 1 条 （総則）

ライセンサーは、許諾ソフトウェアの国内における非独占的かつ第 3 条第 1 項に定める例外を除き譲渡不能な使用权を使用者に許諾します。

第 2 条 （使用权）

1. 本契約によって生ずる使用权とは、許諾ソフトウェアのを本製品を使用する権利をいいます。
2. 使用者は、許諾ソフトウェアの一部もしくは全部を複製、複写もしくは修正、追加等の改変をすることができません。
3. 許諾ソフトウェアの使用は私的範囲に限定されるものとし、許諾ソフトウェアは営利目的を含めたとに関わらず、いかなる目的でも頒布することができません。
4. 使用者は、許諾ソフトウェアを取扱書またはヘルプファイルに記載の使用方法に沿って使用するものとし、許諾ソフトウェアの全部または一部を用いて著作権法等の法規に違反するデータの使用、複製を行ってはならないものとし、また、指定 PC へのネットワーク接続を用いて、使用者以外の第三者にこれを使用させることは許されていません。

第 3 条 （許諾条件）

1. 使用者は、本製品を譲渡する場合、内在する許諾ソフトウェア（その関連資料、アップデート版、アップグレード版を含む）の使用权については、自らの手元にオリジナル及び一切の複製物、関連資料を残さない事、又譲受人を本ソフトウェア使用許諾契約に従わせる事に条件に、移転できるものとします。

2. 使用者は許諾ソフトウェアに関し、リバースエンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル等のソースコード解析作業を行ってはならないものとします。

第 4 条 （許諾ソフトウェアの権利）

許諾ソフトウェア及びその関連書類に関する著作権等一切の権利は、ライセンサーまたはライセンサーに許諾ソフトウェアの使用、再許諾を許諾した原権利者（以下、原権利者）に帰属するものとし、使用者は許諾ソフトウェア及びその関連書類に関して本契約に基づき許諾された使用权以外の権利を有しないものとします。

第 5 条 （ライセンサーの免責）

1. ライセンサー及び原権利者は、使用者が本契約に基づき許諾された使用权を行使することにより生じた使用者もしくは第三者の損害に関していかなる責任も負わないものとします。但し、これを制限する別途法律の定めがある場合はこの限りではありません。
2. ライセンサーは「許諾ソフトウェア」について商品性、互換性及び特定目的に合致していることを保証致しません。

第 6 条 （第三者に対する責任）

使用者が許諾ソフトウェアを使用することにより、第三者との間で著作権、特許権その他の知的財産権の侵害を理由として紛争が生じたときは、使用者自身が自らの費用で解決するものとし、ライセンサー及び原権利者に一切の迷惑をかけないものとします。

第 7 条 （秘密保持）

使用者は、本契約により提供される許諾ソフトウェア、その関連書類等の情報及び本契約の内容のうち公然と知られていないものについて秘密を保持するものとし、ライセンサーの承諾を得ることなく第三者に開示または漏洩しないものとします。

第 8 条 （契約の解除）

ライセンサーは、使用者において次の各号の一に該当する事由があるときは、直ちに本契約を解除し、またはそれによって蒙った損害の賠償を使用者に対し請求できるものとします。

- (1) 本契約に定める条項に違反したとき
- (2) 差押、仮差押、仮処分その他強制執行の申立を受けたとき

第 9 条 （許諾ソフトウェアの廃棄）

前条の規定により本契約が終了した場合、使用者は契約の終了した日から 2 週間以内に許諾ソフトウェア、関連書類及びその複製物を廃棄するものとします。

第 10 条 （著作権保護）

1. 許諾ソフトウェアに関する著作権及びその他の一切の知的財産権は、ライセンサー及び現権利者に帰属するものでありいかなる権利も使用者が有するものではありません。
2. 使用者は許諾ソフトウェアの使用に際し、著作権法及びその関連の法律に従うものとします。

第 11 条 （輸出規制）

1. 許諾ソフトウェアを日本国外に輸出すること（インターネット等を利用した国外送信を含みます）はできないものといたします。
2. 使用者は、許諾ソフトウェアが日本国およびアメリカ合衆国の輸出に関する規制の対象となることを了承するものとします。
3. 使用者は、許諾ソフトウェアに適用される一切の国際法および国内法（アメリカ合衆国の輸出管理規則、アメリカ合衆国、日本国及びその他の政府機関が定めるエンドユーザー、エンドユーザーによる使用及び輸出対象国に関する規制を含みます）に従うことに同意するものとします。

第 12 条 （その他）

1. 本契約の一部が法律によって無効となった場合でも、当該条項以外は有効に存続するものとします。
2. 本契約に定めなき条項もしくは本契約の解釈に疑義を生じた場合には、ライセンサー、使用者は誠意をもって協議し、解決するものとします。
3. ライセンサー及び使用者は、本契約が日本国の法律に準拠し、本契約から生ずる権利義務に関する紛争については、東京地方裁判所をもって第一審の専属管轄裁判所とする事に合意するものとします。

以上

Important Notice concerning the Software

-jansson

Copyright (c) 2009-2012 Petri Lehtinen <petri@digip.org>

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

-cJSON

Copyright (c) 2009 Dave Gamble

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/ or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

-CMP

The MIT License (MIT)

Copyright (c) 2014 Charles Gunyon

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/ or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

nanopb

Copyright (c) 2011 Petteri Aimonen <pa at nanopb.mail.kapsi.fi>

This software is provided 'as-is', without any express or implied warranty. In no event will the authors be held liable for any damages arising from the use of this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following restrictions:

1. The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated but is not required.
2. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.
3. This notice may not be removed or altered from any source distribution.

sha2

AUTHOR: Aaron D. Gifford - <http://www.aarongifford.com/>

Copyright (c) 2000-2001, Aaron D. Gifford
All rights reserved.

You may obtain a copy of the license at
<https://opensource.org/licenses/BSD-3-Clause>

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Posix

Copyright (c) 1990, 1993

The Regents of the University of California. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
4. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

Copyright (C) 1993 by Sun Microsystems, Inc. All rights reserved.

Developed at SunPro, a Sun Microsystems, Inc. business.
Permission to use, copy, modify, and distribute this software is freely granted, provided that this notice is preserved.

Copyright (C) 1991-2, RSA Data Security, Inc. Created 1991. All rights reserved.

License to copy and use this software is granted provided that it is identified as the "RSA Data Security, Inc. MD4 Message-Digest Algorithm" in all material mentioning or referencing this software or this function.

Copyright (c) 1995, 1996 Carnegie-Mellon University. All rights reserved.
Author: Chris G. Demetrious

Permission to use, copy, modify and distribute this software and its documentation is hereby granted, provided that both the copyright notice and this permission notice appear in all copies of the software, derivative works or modified versions, and any portions thereof, and that both notices appear in supporting documentation.

CARNEGIE MELLON ALLOWS FREE USE OF THIS SOFTWARE IN ITS "AS IS" CONDITION. CARNEGIE MELLON DISCLAIMS ANY LIABILITY OF ANY KIND FOR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM THE USE OF THIS SOFTWARE.

Carnegie Mellon requests users of this software to return to

Software Distribution Coordinator or Software.Distribution@CS.CMU.EDU
School of Computer Science
Carnegie Mellon University
Pittsburgh PA 15213-3890

any improvements or extensions that they make and grant Carnegie the rights to redistribute these changes.

License is also granted to make and use derivative works provided that such works are identified as "derived from the RSA Data Security, Inc. MD4 Message-Digest Algorithm" in all material mentioning or referencing the derived work.

RSA Data Security, Inc. makes no representations concerning either the merchantability of this software or the suitability of this software for any particular purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty of any kind.

Copyright (c) 1993 Martin Birgmeier
All rights reserved.

You may redistribute unmodified or modified versions of this source code provided that the above copyright notice and this and the following conditions are retained.

This software is provided "as is", and comes with no warranties of any kind. I shall in no event be liable for anything that happens to anyone/anything when using this software. These notices must be retained in any copies of any part of this documentation and/or software.

T-Kernel 2.0

This product uses the source code of T-Kernel 2.0 under T-License 2.0 granted by T-Engine Forum
(www.tron.org)

BSD-3-Clause
Copyright (c) 2000-2001, Aaron D. Gifford
All rights reserved.

You may obtain a copy of the license at
<https://opensource.org/licenses/BSD-3-Clause>

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

LFS Subsystem

Copyright The Regents of the University of California. All rights reserved.

You may obtain a copy of the license at
<https://directory.fsf.org/wiki/License:BSD-4-Clause>

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Accordo2 Player

Apache License
Licensed under the Apache License,
Version 2.0, January 2004(the "License");
You may obtain a copy of the license at
<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

はじめに

基本操作

オーディオ

Bluetooth

設定

付録

故障かな?と思ったら

症状		対処方法
一般	音が出ない	音量を調節してください。 接続コードや配線を確認してください。
	「MISWIRING CHECK WIRING THEN PWR ON」と表示される	電源をオフにして、スピーカーコードがショートしていないかを確認してください。確認後、もう一度電源をオンにしてください。
	「PROTECTING SEND SERVICE」と表示される	お買い上げの販売店へお問い合わせください。
	本機が動作しない	本機をリセットしてください。(→ P.9)
	ディスプレイの表示が正確でない(アルバム名など)	英大文字、数字といくつかの記号が表示できます。表示できない文字は、「_」表示となります。
ラジオ	ラジオの感度が悪い	アンテナをしっかりと接続してください。
	ラジオに雑音が入る	
USB/iPHONE	雑音が入る	他の曲を選んでください。
	「READING」が点滅し続ける	階層を複雑にしたり、フォルダー数をあまり多くしないでください。 機器(USB/iPhone)を接続し直してください。
	再生の順番が思ったとおりではない。	USB 機器のフォルダーは制作された日付/時刻の順で再生されます。フォルダーの中のファイルはファイル名のアルファベット順で再生されます。
	経過時間が正確でない	録音方法によっておこります。
	【Q/♪】を押してファイル検索モードに入ると「LOADING」と表示される	本機が iPhone のミュージックリストを準備しています。時間がかかる場合があります。時間をおいて試してください。
	「NA FILE」	再生可能なファイルがあるかを確認してください。(→ P.32)
	「NO DEVICE」	機器(USB/iPhone)を接続して、ソース(音源)を USB または iPhone USB に切り替えてください。
	「COPY PRO」	コピープロテクトされているファイルが再生中です。
	「UNSUPPORTED DEVICE」	接続している機器が本機に対応しているか、ファイルフォーマットがシステムに対応しているかを確認してください。(→ P.32) USB 機器を接続し直してください。
	「UNRESPONSIVE DEVICE」	USB 機器が正常に動作するかを確認して、機器を取り付け直してください。
	「USB HUB IS NOT SUPPORTED」	本機では USB ハブを介して接続している USB 機器は使えません。
	他の音源を聞いているときに USB 機器を接続しても、音源が USB に切り替わらない	USB ポートが制限以上に電源を使っています。本機の電源をオフにして、USB 機器を取りはずし、もう一度電源をオンにして USB 機器を接続し直してください。それでも問題が解決しない場合は、本機の電源をオフにして、もう一度オンにして(またはリセットして)から他の USB 機器を接続してください。
	「USB ERROR」が表示される	
	iPhone の電源がオンにならない、または使えない	本機と iPhone の接続を確認してください。 iPhone を取りはずして、ハードリセットしてください。

症状		対処方法
USB/IPHONE	「NO MUSIC」	再生可能なオーディオファイルを含む機器（USB/iPhone）を接続してください。
	「IPHONE ERROR」	iPhone を接続し直してください。 iPhone をリセットしてください。 【 OSRC 】を押し続けて電源をオフにしてください。その後、もう一度電源をオンにします。
	「MEMORY FULL」	お使いの iPhone の最大保存容量に達しています。
	Bluetooth 機器が検出されない	Bluetooth 機器から、再度検出してください。 本機をリセットしてください。（→ P.9）
Bluetooth®	Bluetooth 機器とのペアリングができない	本機と Bluetooth 機器からペアリングの情報を削除し、もう一度、ペアリングを実行してください。（→ P.19）
	通話中にエコーがかかる、または雑音が入る	マイクの位置と角度を調節してください。 “ECHO CANCEL” の設定を確認してください。（→ P.22）
	通話品質が悪い	Bluetooth 機器を本機に近づけてください。 車両を電波状況の良い場所に移動させてください。
	電話の相手の声が車のスピーカーから聞こえてこない	ハンズフリーモードと普通通話モードを切り替えるには、 【▶II6】 を押す。（→ P.21）
	音声やボイスコマンドが正しく認識されない	静かな場所でマイクに向かって発声してください。 マイクの近くで「名前」を言ってください。 音声を事前に登録する必要がある機器では登録者の声のみ認識します。
	Bluetooth オーディオプレーヤーの再生中に音が飛んだり、途切れる	Bluetooth 機器を本機に近づけてください。 本機の電源をオフにして、またオンにして接続し直してください。 他の Bluetooth 機器の電源をオフにするか、Bluetooth 機器を遠ざけてください。
	接続した Bluetooth 機器が操作できない	接続している Bluetooth 機器が Audio/Video Remote Control Profile (AVRCP) に対応しているかを確認してください。（お使いのオーディオプレーヤーの説明書をご覧ください） Bluetooth 機器を接続し直してください。
	「NOT SUPPORT」	携帯電話が音声認識または電話帳転送に対応していません。
	「NO ENTRY」	登録済の機器が接続されていません。
	「ERROR」	もう一度操作をしてください。「ERROR」とまた表示されたときは、お使いの機器が使用している機能に対応しているかを確認してください。
	「NO INFO」 / 「NO DATA」	電話番号などの連絡先のデータがありません。
	「HF ERROR XX」 / 「BT ERROR」	本機をリセットしてもう一度操作してください。それでもエラーメッセージが表示されるときは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
	「SWITCHING NG」	接続している携帯電話はこの機能に対応していません。
	本機と Bluetooth 機器の接続が不安定	使っていない Bluetooth 機器の登録を本機から削除してください。（→ P.20）

仕様

ラジオ部	FM 受信周波数範囲	76.0 MHz ~ 99.0 MHz (100 kHz)
	AM 受信周波数範囲	522 kHz ~ 1 629 kHz (9 kHz)
USB	USB 規格	USB1.1、USB2.0(ハイスピード)
	ファイルシステム	FAT12/16/32
	最大供給電流	DC 5 V $\pm$ 1.5 A
	MP3 デコード	MPEG-1/2 Audio Layer-3 準拠
	WMA デコード	Windows Media Audio 準拠
	AAC デコード	AAC-LC 形式「.aac」、「.m4a」ファイル
	WAV デコード	リニア PCM
	FLAC デコード	FLAC ファイル (96 kHz/24 bit まで対応)
Bluetooth 部	規格	Bluetooth 5.2
	対応プロファイル	HFP 1.8 SPP PBAP A2DP AVRCP 1.6.2
	対応コーデック	SBC/AAC
	SCMS-T	対応
AUX 入力	入力最大電圧	1 000 mV
	入力インピーダンス	30 k Ω
オーディオ部	最大出力	50 W $\times$ 4
	定格出力	30 W $\times$ 4 (4 Ω 、1 kHz、10 % THD)
	スピーカーインピーダンス	4 Ω ~ 8 Ω
一般	電源電圧	14.4 V (10.5 V ~ 16 V)
	最大消費電流	10 A
	埋込寸法 (幅 $\times$ 高さ $\times$ 奥行)	178 mm $\times$ 100 mm $\times$ 123.5 mm
	質量	860 g (0.86 kg)
	使用温度範囲	-10 $^{\circ}$ C ~ +60 $^{\circ}$ C

はじめに

基本操作

オーディオ

Bluetooth

設定

付録

保証とアフターサービス

保証について

- 保証書 この製品には保証書が添付されております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」(→ P.38)を参照してお調べいただき、それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容が全て消去されることがあります。
あらかじめご了承ください。

- 保証期間中は…
保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。本機以外の原因（衝撃や水分、異物の混入など）による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

- 保証期間経過後は…
お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。
補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店にご遠慮なくお問い合わせください。

ダイハツ純正アクセサリ保証書

1、保証の内容

本保証書「品名／ダイハツ品番」に記載の商品に不具合が発生した場合、本保証書に示す期間と条件に従ってこれを無料修理いたします。（以下、この無料修理を保証修理といいます。）

2、保証の期間、受け方

(1)保証期間

保証修理を受けられる期間は、本保証書「取付日」記載の日付から3年間とします。
ただし、その期間内でも「取付時走行km」記載の走行距離から起算して60,000km到達時までとします。

(2)保証修理の受け方

保証修理をお受けになる場合は、お買い上げ頂いたダイハツ販売会社又はダイハツ販売店に、本保証書をご提示のうえ保証修理をお申しつけ下さい。

3、保証しない事項

(1)次に示すものは保証いたしません。

- ① 使用損耗あるいは経年変化（例、マット類、シートカバー、シール類、塗装・メッキ・金属・生地・樹脂・ゴムなどの表面、等）
- ② 一般に品質、機能上影響のない感覚的現象（音、振動、操作フィーリング、オイルにじみ、等）
- ③ 適用車種以外で使用した場合や正規の使用以外の場合
- ④ 適切な保守・保管・整備がされていないことに起因する不具合
- ⑤ 取扱説明書、ラベル類、添付の注意書などに示す取扱い方法と異なる使用に起因する不具合
- ⑥ 飛石、酸性雨、塩害、薬品、鉄粉、煤煙、降灰、鳥糞などの外的要因による不具合
- ⑦ 地震、台風、水害などの天災ならびに火災、事故、盗難による不具合
- ⑧ ダイハツ工業が認めていない改造による不具合
- ⑨ 販売会社、販売店やお客様の取付、取扱い、修理に起因する不具合
- ⑩ その他、ダイハツ工業の責によらない不具合

(2)次に示す場合については保証いたしません。

- ① 本保証書のご提示がない場合
- ② 本保証書の車両型式、フレームNo、品名、品番、取付日、取付時走行km、お客様名、ダイハツ販売会社名・ダイハツ販売店名の記入・捺印がない場合または字句が書き替えられた場合
- ③ 本保証書記載のお取付車両以外の車両で使用した場合

(3)次に示すものの費用は負担いたしません。

- ① 使用している間に自然に消耗する部品、油脂・冷媒・ケミカル製品類の正常な劣化による交換・補充・調整費用（例、フィルター類、ベルト・バンド類、ワイパーブレード、バルブ・電球類、電池、ヒューズ、タイヤ、エアバルブ、タイヤチェーン、等）および清掃費用
- ② 自動車や商品を使用できなかったことによる不便さおよび損失など（例、通信費、レンタカー代、宿泊代、交通費、休業補償、商業損失、等）
- ③ 保証修理に関連して生じた、納車料金・引取料金・お客様のご要望により出張修理をした場合の出張料金

4、保証の発効

本保証書は、お買い上げ頂いたダイハツ販売会社又はダイハツ販売店が必要事項を記入、捺印することにより有効となります。

5、保証の適用

本保証書は日本国内でのみ有効です。
(This warranty is valid only in JAPAN)

6、その他

本保証書は、本保証書に明示した期間、条件のもとにおいて保証修理をお約束するものです。従って保証期間経過後に発生した不具合の修理は原則として有料です。

大阪府池田市ダイハツ町1番1号
ダイハツ工業株式会社

ダイハツ販売会社又はダイハツ販売店記入欄	お客様	おなまえ		TEL	
		様			
	お取付車両	おところ			
		車両型式	フレーム No	登録ナンバー	
		取付日	取付時走行 km	備考（修理メモ・保証継承情報等）	
		品名	ワイド Bluetooth/USB チューナー		
ダイハツ販売会社名 又は ダイハツ販売店名	社名 / 店名				
	住所	TEL	印		

発売元

ダイハツ工業株式会社